

## 予算審査特別委員会産業建設分科会

- 1 開会日時 令和2年3月5日(木)午後1時0分
- 2 閉会日時 令和2年3月5日(木)午後3時11分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
4番 佐々木雄司君      6番 保田 守君      8番 治徳 義明君  
10番 行本 恭庸君      14番 佐藤 武文君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市長 友實 武則君      副市長 前田 正之君  
副市長 川島 明昌君      産業振興部長 有馬 唯常君  
建設事業部長 杉原 洋二君      赤坂支所長 土井 常男君  
熊山支所長 矢部 恭英君      吉井支所長 是松 誠君  
農林課長 矢部 勉君      商工観光課長 大崎 文裕君  
地域整備推進室長 菊地 良典君      建設課長 福圓 章浩君  
赤坂支所産業建設課長 森本 一也君      熊山支所産業建設課長 光田 尚人君  
吉井支所産業建設課長 中務 浩行君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君      主 幹 黒田 未来君
- 8 審査又は調査事件について  
1) 議第13号 令和元年度赤磐市一般会計補正予算(第5号)の産業建設常任委員会所管部分  
2) 議第20号 令和2年度赤磐市一般会計予算の産業建設常任委員会所管部分
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後1時0分 開会

○分科会委員長（佐々木雄司君） 皆さん、お疲れさまでございます。

ただいまから予算審査特別委員会産業建設分科会を開会いたします。

これより分科会の審査に入らせていただきます。

当分科会の審査対象は、議第13号令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）の産業建設常任委員会所管部分及び議第20号令和2年度赤磐市一般会計予算の産業建設常任委員会所管部分の2件であります。

それでは、議第13号令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）の産業建設常任委員会所管部分についてを議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、議第13号令和元年度一般会計補正予算の農林課所管部分について補足説明をさせていただきます。

補正予算書の16ページ、それから予算説明資料のほうは6、7ページでございます。それから、あわせて本日お配りしております産業振興部分科会資料1ページをごらんください。

主要なものを補足説明させていただきます。

まず、歳入でございますけれども、21款諸収入、5項雑入、4目雑入、東備農業共済事務組合の返還金を当初7,099万3,000円で見込んでおりましたが、額の確定に伴いまして707万7,000円の増額でございます。合わせて7,807万円です。

それから、補正予算書の6ページ、予算説明資料は70、71ページです。

これは歳出になりますけれども、6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費、山方研修センター整備改修工事でございますが、入札不調の報告は前の委員会ですべていただいておりますけれども、受注業者が決定しておりますので、適正な工事期間確保のため、予算を繰り越しさせていただきます。

農林課の補足説明は以上でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、議第13号令和元年度一般会計補正予算（第5号）につきまして、商工観光課所管部分について補足説明をさせていただきます。

補正予算書の23ページ、24ページ、それから補正予算説明資料では16ページ、17ページ、あわせて本日お配りしております産業振興部の資料の6ページをお願いいたします。

まず、補正予算書23ページからお願いします。

7款商工費、1項商工費、2目商工振興費、19節負担金、補助及び交付金で、企業誘致奨励

金では本年度実績6者分の奨励金決定見込みにより3,221万円減額するもので、補正予算書24ページの同じく宅地等開発事業特別会計繰出金では、小瀬木団地の土地売買に伴う起債の一括償還、精算を行った結果、1,262万1,000円の繰出金が不用となったため、減額するものでございます。

補足説明は以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

続きまして、建設事業部の説明を求めたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） それでは、建設事業部上下水道課の案件から補足説明をさせていただきます。

まず、予算書の22ページ、予算説明資料では14ページ、15ページをお願いいたします。

4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、19節の負担金、補助及び交付金であります。これは本会議場でも説明をさせていただきました合併浄化槽設置に係る補助金で、今年度は47基を当初予算で見込んでおりました。実績といたしまして、3月末までに完成をするのが19基と現在見込んでおります。これに伴いまして、その費用を減額するものでございます。

次に、予算書の23ページをお願いいたします。

6款の農林水産業費、1項農業費、5目農地費、これとあわせまして予算書の25ページ、8款の土木費、5項下水道費、1目下水道整備費、それぞれ28節でございます。繰出金です。これは下水道事業特別会計の決算見込みにより繰出金を減額するものでございます。

また、地域整備推進室の都市計画総務費については、本会議場で財務部長が細部説明を行っておりますので、補足説明はございません。

以上です。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課関係の補足説明をさせていただきます。

補正予算書の22ページからと補正予算説明資料14ページ、15ページからをお願いします。

6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費として県営ほ場整備事業、斎富、南方地区の追加割り当て内示によりまして負担金を1,300万8,000円増額し、また実績見込みにより委託料、工事請負費等を減額する予定としております。

続きまして、補正予算書の24ページからと補正予算説明資料16ページ、17ページからをお願いします。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費として県土木事業、県道平岡小鎌線等の追加割り当て内示によりまして1,266万5,000円の増額、美作岡山道路事業が実績見込みにより

156万5,000円の減額となり、差し引き負担金を1,110万円増額し、また実績見込みによりまして委託料を減額する予定としております。

また、6款農林水産業費、2項林業費、1目林業総務費で、6款農林水産業費、2項林業費、2目林業振興費で、8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費で、8款土木費、2項道路橋梁費、3目道路新設改良費で、また8款土木費、3項河川費、1目河川総務費で、また8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費で、8款土木費、6項住宅費、1目住宅管理費で、それぞれ実績見込みにより減額を予定しております。

続きまして、補正予算説明資料の70ページ、71ページをお願いします。

繰り越しについてですけれども、ごみ関連周辺整備、ため池の改修整備、岩田長尾線道路改良、熊山駅前周辺整備等につきまして、関係機関との協議、用地補償交渉等の不測の事態によりまして今年度の完了が困難となったため、次年度への繰り越しを予定しております。

以上で建設課の補足説明を終わります。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

質疑につきましては、部ごとに受けたいと思います。加えまして、部の中でも課ごとに質疑のほうを受けさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それではまず、産業振興部関係につきまして、産業振興部農林課関係につきまして質疑がありましたらよろしく願いいたします。

ございますでしょうか。

農林課関係、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） じゃあ続きまして、ないようですので、次の課に参りたいと思います。

商工観光課関係で、委員さんのほうで質疑がありましたらよろしく願いいたします。

○分科会副委員長（保田 守君） いいですか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 商工観光じゃな。

○分科会委員長（佐々木雄司君） はい。

補正でしょう。一般会計じゃない、それ当初でしょう。

○分科会副委員長（保田 守君） 違うのか、補正のほうか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 補正です。

保田副委員長、よろしいですか。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ほか、どなたかございますでしょうか。

補正予算のほうはよろしいでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、質疑がないようですので、次に建設事業部関係につきまして質疑を受けたいと思います。

建設課関係で質疑のほうはございますでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 6ページの繰越明許費の補正予算のことについてお伺いしたいんですけど、土木費の関係で道路橋梁費から都市計画費の辺まであるわけですけど、その関係で岩田長尾線の完了予定が令和3年3月31日になつとると。他の完了予定については、幾ら遅い完了でも令和2年8月31日、この長尾岩田線だけが令和3年3月31日になっておる理由と、もう1点は、市長が施政演説において新拠点の整備をやるということを明言をされて、一般質問等々においても力強い発言をされておられます。その関係で令和3年3月31日で市長の施政方針で述べられたことは計画どおりに事業が実施できるのかどうか、このことについてお答えをいただきたいと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 岩田長尾線の改良につきましては、用地費と補償費が大きなもので繰り越しをさせていただく予定にしておりますけれども、今自動車工場の関係で補償の交渉を進めておりますけれども、これが相手がいることですのでいつになるかわからないっていうのを考慮させていただいております。契約ができてから後、自動車工場の建設をして、そこから解体をさせていただくことになりますので、少し長目の完了工期とさせていただいております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私ちょっと地元の区長ともこの件についてはお話をさせていただいております。本会議場での説明では28件中24件、あと4件が用地買収ができてないというようなことも説明をされておられました。そういうことも含めて令和3年3月31日という日にちを切っておられるんだろうとは思いますが、市長は新拠点整備について、このことについてはやるということをはっきり明言をして言われておるんですね。しかしながら、執行部の事業の進捗状況については令和3年3月31日までやるということは、市長の命令に職員は従っていないのではないかなと、市長もそういうふうな悠長な考え方の中でこの計画をしておられるのか、私は岩田長尾線については非常に時間がかかるのではないかとということを一般質問でも取り上げて申し上げさせていただいております。しかしながら、市長の答弁については、そのような

ことについては前向きにやるというようなことの中で、そう時間をかけてやられるようなことを市長は申し上げておられないような答弁をされておられます。そのことについて、なぜ令和3年3月31日までにしたかということについて、先ほどの課長の答弁にはなかったわけでございますので、再度そのことについてお答えをいただきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 本件につきましては、先ほども課長のほうが説明をさせていただきました。物件の場合、補償をして、今事業地内にある建物が解体、除却をしてから最終の精算払いとなります。まず、契約については早期に契約ができるよう現在職員一丸となって対応しております。本件につきましては、予算執行の予算の最終的な代金決済を含めての支払の完了期日ということで令和3年3月31日とさせていただいてるものでございます。事業の推進に当たりましては、早期に対応していくよう執行体制を整えているものでございます。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） もう一度確認をさせていただきます。

令和3年3月31日で長尾岩田線の道路工事は完了するというところでよろしいんですか、そのことを確認しておきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 用地の取得については、完了できるよう努力をしております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） いやいや、道路の買収だけではない。工事も含めて令和3年3月31日までに事業ができなければならないんじゃないんですか。用地の買収だけが事業の完了予定とこの解釈は違うんじゃないですか。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 工事につきましては、国からの財政支援、補助金を受けて、実施するようにしております。現在国の赤磐市への補助金の割り当てのほうも徐々にふえつつはございますが、事業を全部完了するだけの予算の配分のほうはいただけない状態でございます。最終的な道路の完成については、今後二、三年はかかるのではないかと、供用までにはか

かるものと推測をされます。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私も一般質問の中で、この事業について、あと二、三年はかかるだろうということを質問させていただいたわけですが、市長のほうはそのことについては同調していただけてないんですね。そのことについて、市長のほうに再度、私はお伺いさせていただきたいと思いますが、令和3年3月31日に工事は完了するののかということを経理のほうにも確認をとらせていただきたいと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） この事業については、先ほど部長が申し上げましたが、国の交付金をいただいての事業進捗になってまいります。国のほうへ予算をふやしていただくよう強く要望してまいります。それによつての工事進捗になるかと思つたので、強い要望をしながら行ってまいりたいと思つた。したがつて、令和3年3月31日までに道路を開通するということは、今ここでお約束はできない状況でございます。御理解のほどをよろしくお願ひします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） そう都合のいいように、ころころころ答弁を変えられても困るんですけど、再度ほんならお伺いさせていただきますけど、全体の工事の中で令和3年3月31日までにどのくらいまでの進捗になるかということについてお答えいただきたいと思つた。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 現在の予定では、用地の全部取得を目指してまいりたいと考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 9,476万4,000円は用地費だけですか、そうじゃないでしょう。事業費も入つておるんじゃないんですか、再度お伺ひします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 先ほども答弁させていただきましたとおり、工事費のほうも計上いたしてあります。しかしながら、国の割り当てがついた中での、できる部分の側溝とか路盤とかの一部工事となっております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 9,476万4,000円で、全体の工事の中で何メートルできるんですかということをお伺いしておるんですけど、どのくらいできるんですか。3分の1ですか、半分ですか、そのことについてお答えいただきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 道路の工事の進捗でございますけども、延長で現在区切っていくような発注形態のほうをとっておりません。工種ごと、側溝工をまずは先行させて、農業への支障がないようにするでありますとか、路盤工をつくるでありますとか、路床工をつくるでありますとか、工種単位で事業の進捗を効果的な方法で進めているものでございます。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） ちょっと私には理解できないんですね。

全体の工事の関係で、そういうふうな今、水路とかいろいろな補足的な工事もあるわけでございますけど、全体の計画の中で令和3年3月31日までにどのくらいできるんですかということをお伺いしとんです。そのことについて、一切どのくらいということの目安が御報告にないんですけど、目安のないような工事発注をしておられるのでしょうか。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） まずもって先ほども答弁させていただきました用地補償の全部取得、事業地の全部取得を目指してまいりたいと考えます。

工事につきましては、国からの受けられる補助金の大小によって、どこまでできるかが今現在まだきちっと確定ができていない状態でございます。それによって若干の進捗は変わるものと認識をしております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） よろしいです。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ほかに質疑のほうはありませんでしょうか。

建設課関係です。ないようでしたら、次の上下水道課に質疑のほうを移したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） それじゃあ、建設課の質疑のほうはこれで終わりたいと思



います。

続きまして、上下水道課、こちらに関係する質疑を受けたいと思います。

委員さんのほうでございましたらよろしく願いいたします。

上下水道課です。ございませんでしょうか。ないようでしたら、これで上下水道課への質疑は終了したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、上下水道課への質疑はこれで終わりたいと思います。

続きまして、地域整備推進室、こちらの一般会計補正予算（第5号）についての質疑を受けたいと思います。

委員さんのほうでございましたらよろしく願いいたします。

ございませんか。

いかがでしょうか。ないようでしたら、これで地域整備推進室関係の質疑を終了したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、地域整備推進室の質疑をこれで終わりたいと思います。

以上、補正予算の質疑が終了いたしました。

続きまして、議第20号令和2年度赤磐市一般会計予算の産業建設常任委員会所管部分を議題とし、これから審査を行いたいと思います。

執行部から補足説明がありましたらよろしく願いいたします。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） 議第20号令和2年度赤磐市一般会計予算につきまして、産業振興部関係の部分で補足説明をさせていただきます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 濟いませぬ、その前に先ほどのことにつけ加えさせていただきます。説明は予算書及び説明資料のページ数を言うてから行うようによろしく願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、議第20号令和2年度一般会計予算の農林課所管部分の主なものについて補足説明をさせていただきます。

本日配付させていただいております産業振興部分科会資料4ページをごらんください。

予算編成の関係資料としまして、主要事業の実績、果樹生産状況、水稻作付情報を添付して

おります。上段の主要事業の実績は、農地集積促進事業から有害鳥獣の駆除事業まで、それぞれ実績数値等でございます。それから、下段の果樹生産状況は、農作物の生産状況で果樹栽培と水稻作付のデータ等を掲載しております。後ほどごらんいただけたらと思います。それから、分科会資料の5ページは、2月の当常任委員会で御依頼いただいております地域おこし協力隊員の概要をまとめておりますので、御参照いただきたいと思います。

それでは、産業振興部の予算について補足説明させていただきます。

予算書のほうをごらんください。予算書16ページから、予算説明資料は2ページ、3ページからとなります。

まず、歳入の主なものについて御説明いたします。

2款地方譲与税、4項森林環境譲与税、1目森林環境譲与税でございますが、市町村の収入額でございます。

それから、予算書26、27ページ、説明資料10、11ページ。

17款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金でございますが、この款には産業振興部と建設事業部の予算が計上されております。産業振興部関係で主なものは、中山間地域等直接支払交付金、地域農業振興補助金、多面的機能支払交付金等がございまして、2節の林業費補助金においては、松くい虫特別防除事業補助金、有害鳥獣捕獲強化対策事業補助金などが含まれております。

以上がこちら歳入の主なものでございます。

それから次、歳出の御説明をさせていただきます。

予算書78、79ページ、説明資料のほうは66ページ、67ページをごらんください。

6款農林水産業費でございます。この款にも産業振興部と建設事業部の予算が計上されております。産業振興部関係で主なものでございますが、1項農業費、1目農業委員会費でございます。農業委員会の運営費と農家台帳の管理費でございます。

次に、3目農業振興費ですが、済みません、80から82ページをごらんください。説明資料は68、69、70、71ページです。この目は農業関係振興施策に関する経費で、経営・生産対策推進事業、農作物鳥獣被害防止対策事業、中山間地域等直接支払交付事業、地域おこし協力隊施設管理費などの各種事業が含まれております。

それから、83ページをごらんください。説明資料は70、71ページです。

4目畜産業費でございます。主なものは負担金、補助及び交付金で、これは削蹄及び予防注射等に対して補助するものです。5目農地費は建設事業部の所管となります。

次に、84、85、86ページをごらんください。説明資料は72ページから75ページになります。

2項林業費には、産業振興部と建設事業部の予算がございまして。

まず、1目林業総務費ですが、産業振興部の主なものでは森林環境譲与税を財源としての所有者意向調査費、それから有害鳥獣対策費を計上しております。

2目林業振興費ですが、この目で産業振興部関係のものは松くい虫対策関係事業と石蓮寺森林公園等の管理経費が主なものでございます。

以上で一般会計の農林課の補足説明とさせていただきます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、議第20号令和2年度赤磐市一般会計予算、商工課関係につきまして補足説明をさせていただきます。

それでは、商工課関係では歳出のほうから御説明申し上げます。

予算書では、86ページから89ページでございます。それから、予算説明資料では74ページから81ページのほうに記載をさせていただいております。あわせて、本日お配りしております分科会産業振興部資料の6ページを参考にさせていただければと思います。

それでは、主なものにつきまして御説明をさせていただきます。

それでは、予算書の86ページ、予算説明資料では76ページからお願いいたします。

7款商工費、1項商工費、2目商工振興費では、企業誘致関連事業と中小企業を支援するための商工振興対策事業に関する経費を計上しております。前年比で減額となっております要因につきましては、小瀬木団地の精算によります宅地等開発事業特別会計への繰出金の皆減、それから企業誘致奨励金の減によるものでございます。

それでは、87ページからお願いします。

2目商工振興費、13節委託料の主なものでは、イベント委託料で高校生企業勉強会、女性の再就職支援事業などの経費を計上しております。次に19節負担金、補助及び交付金の主なもので企業誘致奨励金で、令和2年度におきましては前年度より1者増の7者を見込んでおります。ただいま御説明申し上げました補助事業の近年の推移につきましては、本日お配りしております分科会資料の7ページのほうに一覧表で示させていただいております。参考に御確認いただけたらと思います。

続きまして、予算書では87ページから88ページです。それから、予算説明資料では78ページから81ページとなります。

3目観光費では、観光施設などの維持管理、観光振興対策に係る経費を計上しております。前年度と比較いたしまして減となっております要因につきましては、施設管理工事や解体工事の工事請負費、工事にかかわる測量設計委託料の減及び吉井川流域広域観光連携事業経費の減によるものでございます。本市の主な観光施設における入り込み客数につきましては、近年の動向を先ほどの分科会資料の7ページのほうにお示ししております。また、資料8ページにつきましては、先月の常任委員会で御依頼のありました商工観光課分の地域おこし協力隊の資料を添付させていただいております。御確認いただければと思います。

それでは、観光費の主なものにつきまして御説明いたします。

予算書88ページをお願いいたします。

3目観光費、11節需用費は、英国庭園などの観光関連施設の管理経費が主なものでございます。13節委託料につきましても、観光関連施設の管理経費などを計上しております。主なものでは、88ページ、下から7行目、設計・施工監理委託料では、山陽産業会館空調設備修繕に係る設計委託料、それから同じく下から4行目、企画提案委託料につきましては、吉井川流域観光連携事業における外国人の市場調査や分析、海外メディアに向けましたプロモーションや広告宣伝などの経費を計上しております。

次に、89ページの15節工事請負費の主なものでは、山陽産業会館の空調設備修繕、英国庭園パーゴラ修繕及び駐車場舗装工事に係る経費を計上しております。19節負担金、補助及び交付金の主なものにつきましては観光事業補助金でございまして、花火大会、あかいわ祭り、是里ワインフェスト等のイベント補助金を計上しております。28節繰出金は、竜天オートキャンプ場特別会計への繰出金でございます。

以上で商工観光課分の補足説明とさせていただきます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

続きまして、建設事業部関係で補足説明がありましたらよろしくをお願いいたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 建設事業部につきましても補足説明がございますので、上下水道課、建設課、地域整備推進室の順でさせていただきます。

まず、上下水道課のほうからさせていただきます。

予算書の76ページ、予算説明資料の64、65ページをお願いいたします。

4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、19節の負担金、補助及び交付金であります。これは合併浄化槽の設置に係る補助金を見込んでおります。令和2年度は37基を計上しております。前年度より10基マイナスとしておるものでございます。

続きまして、予算書の78ページ、予算説明資料の66、67ページであります。

同款の3項上水道費の1目上水道施設費であります。これは岡山県広域水道企業団への運営のための負担金、出資金並びに本市の水道事業への繰出金でございます。

続きまして、予算書の84ページ、予算説明資料の70、71ページでございます。

6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費の28節繰出金であります。これは下水道事業会計への農業集落排水事業に伴う繰出金でございます。

続きまして、予算書の94ページ、予算説明資料では84、85ページとなります。

これは下水道事業会計における公共下水道事業の繰出金でございます。

上下水道課につきましては以上です。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課から補足説明をさせていただきます。

予算書の83ページからと予算説明資料の70、71ページからをお願いします。

6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費として、1、一般管理費、3、元利償還助成事業費、4、団体営事業費、5、県営事業費、6、小規模土地改良事業費、7、広域農道整備事業費、14、施設管理運営費で、農地費合計4億4,621万8,000円のうち、農業集落排水事業会計繰出金を除く建設課所管は3億7,254万2,000円となり、対前年度2,179万3,000円のマイナスとなっております。マイナスの主な要因としましては、ごみ関連の周辺整備がおおむね整ったことにより事業費が縮小したことによるものです。

続きまして、予算書の90ページからと予算説明資料80、81ページからをお願いします。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費として、土木総務費合計1億8,524万6,000円のうち、職員人件費を除く建設課所管は6,382万4,000円となり、対前年度1,236万5,000円のプラスとなっております。プラスの主な要因としましては、県道の改良事業につきまして市町村が事業費の15%を負担しておりますが、県道平岡小鎌線等の県土木事業の増額に伴い、市の負担金がふえたことによるものであります。

続きまして、予算書91ページと予算説明資料82、83ページをお願いします。

8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費として1億4,951万5,000円となり、対前年度1,844万3,000円のプラスとなっております。プラスの主な要因としましては、橋梁点検の結果によりまして修繕が必要となった橋梁の測量設計、修繕工事を実施しますので、それによるものであります。

続きまして、予算書の91ページと予算説明資料の82、83ページをお願いします。

8款土木費、2項道路橋梁費、3目道路新設改良費として3億3,010万円となり、対前年度1億7,094万4,000円のプラスとなっております。プラスの主な要因としましては、岩田長尾線の早期完了に向けた事業の継続、鳥上中央線の工事の着手、門前池線正崎橋の事業の着手によるものであります。

続きまして、予算書92ページと予算説明資料の82、83ページをお願いいたします。

8款土木費、3項河川費、1目河川総務費として3,143万3,000円となり、対前年度1,966万円のマイナスとなっております。マイナスの主な要因としましては、排水機場ポンプの大きな修繕が完了したことによるものであります。

続きまして、予算書の92ページからと予算説明資料の82、83ページをお願いします。

8、土木費、4、都市計画費、1目都市計画総務費として6,830万7,000円となり、対前年度6,371万円のマイナスとなっております。マイナスの主な要因としましては、熊山駅前周辺整備事業の工事発注をおおむね終えておりまして、事業費が縮小したことによるものです。

なお、建設課所管事業を建設事業部資料の1ページにまとめておりますので、詳細について

はそちらを確認お願いいたします。

以上です。

○地域整備推進室長（菊地良典君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 菊地地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（菊地良典君） それでは、議第20号令和2年度赤磐市一般会計予算について、地域整備推進室から補足説明をさせていただきます。

予算書の92、93ページ及び予算説明資料の82、83ページをお願いいたします。

8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費の地域整備推進室の事業費といたしましては5,301万1,000円となります。内訳といたしまして、山陽団地の活性化に向けて県から取得した既存建物の解体に係る費用として、測量設計費229万5,000円及び解体工事費2,500万円を計上しております。また、地域整備推進事業実施及び都市拠点計画策定業務委託費といたしまして2,508万2,000円を計上しております。前年比と比較して3,000万円ちょっと増になっておりますが、大きくは山陽団地6丁目の県営住宅の解体費用によるものです。

以上となります。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 以上で執行部の説明が終わりました。

それでは、これより質疑に入りたいと思います。

歳出の款ごとに進行させていただきたいと思いますので、何とぞ御協力のほどよろしく願いいたします。

それではまず、71ページから78ページまでの4款衛生費につきまして、これから質疑を受け付けたいと思います。執行部のほうからいただいておりますのは産業建設所管部分、76ページの2項清掃費の浄化槽整備事業補助金につきまして、78ページの3項上下水道費につきましてということでございます。これにつきまして質疑がありましたらよろしく願いいたします。

質疑はありませんでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 76ページの浄化槽整備事業補助金の関係で、前年度が47基、今年度が37基で、前年度の実績が19基というような報告がありました。この関係で、対象の地区は今山陽地区で言ったらどの辺が対象になつとるんでしょうかね。ほとんど対象外になっておるのではないと思うんですけど、その中で37基を予定をされておられるということについては、どこら辺が対象になっておられるかということについて報告いただきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 山陽地域に特化しての対象地域でございますが、主に南方、上仁保、斗有、神田地域となります。この37基につきましては、赤磐市全体を対象とした浄化

槽の普及が今可能な地域を見込んでおるものでございます。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 前年度19基というのは、どこの地区が要するに対象として多かったんでしょうか、そのことについての御報告をいただきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 特に多いという地区はございません。市内全域に配っているというふうな状況で、前年度実績ではございました。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） そりゃあいいんですけど、どこの地区かということについて御報告をいただきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 前年度ございましたのは、熊山地域で2基、それから山陽地域、それから吉井地域、赤坂地域でそれぞれにございました。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 熊山の2基はわかったんですけど、足し算が合わないんです。19基のことを聞いておるんで、山陽地域が何基、吉井地域が何基ということについて御報告をいただきたいと思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 今現在私のほうで把握してるのは、市内全域の基数での把握をさせていただいております。各地域ごとにつきましては、後ほどお時間をいただきまして、御回答させていただきます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） いかがでしょうか。

○委員（佐藤武文君） わかりました。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほか委員さんのほうでございませうでしょうか。

ないようでしたら、71ページから78ページまでの部分につきましての質疑はこれで終了した

と思います。よろしいでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） じゃあ、これで質疑は終わりたいと思います。

次に、78ページから86ページまでの6款農林水産業費につきまして、これから質疑を受けた  
したいと思います。

この項目につきまして委員の皆様方のほうで質疑がありましたらよろしくお願ひいたします。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） それでは、説明資料の70ページ、71ページの地域おこし協力隊報償費  
1,008万円と地域おこし協力隊補助金520万3,000円につきまして、地域おこし協力隊員概要と  
いう資料とあわせてちょっと詳細説明をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま治徳委員から御質問いただきました地域おこし協力隊で  
ございます。

これはまず、本日の分科会の資料5ページを見ていただくとわかると思いますけれども、今  
4つの活動の名称がございます。

1つは、地産地消コーディネーター、それから2つ目が仁美地区の夢百笑、それから3つ目  
の是里地区の地域おこし活動、4つ目の是里ワイン醸造場ということで、5名の方の応募をし  
ておりますけれども、済いません、3番の是里地域の地域おこし活動については今現在1人が  
活動中でございます。残る4名でございます。

5名の方の予算を計上しておりまして、報償費として1,008万円、地域おこし協力隊員報償  
費ということで。また、この方々は3年間の活動におきまして、1年目と2年目と3年目でそ  
の報償費も違ってまいります。最初が16万6,000円で、次が18万円、それから3年目が20万円  
となっております。

それからあと、補助金の520万円のところでございますけれども、これはおのおのの活動に応  
じましてお支払いする補助金でございます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ありがとうございます。

それで、是里ワイン醸造場というのは2名ということになってますけど、その理由がわかれ



ば教えてください。また、是里地区の地域おこし活動以外の方は、今後募集していくということでもよろしいのでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 是里ワイン醸造場につきましては、是里ワインの企画販売促進、特産品PR等におきまして、人数を2名としております。

それから、是里地区の地域おこし活動については、1名今いらっしゃるんですけども、その方のほかにも2名応募をかけていくということでございます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 要は、この資料によりますと1番、2番、4番、この4名を募集すると、そういうことでもよろしいのでしょうか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） おっしゃるとおりです。今、1番、2番、4番のところ为空席になっておりますから、こちらの募集をさせていただきます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 地域おこし協力隊が2009年にスタートしてもう10年以上、全国的にたつんですけども、スタート時がわずか89人だった地域おこし協力隊員さんも、今は10年間で現在全国で4,000名を超えた方がいらっしゃる、活躍されているということをお聞きしています。そして、総務省は2024年までに8,000名までふやしていくんだと、こういうふうに表明をされています。これは地域おこし協力隊が地方を元気にする起爆剤になるというふうな評価が高いところがあるんだろうと思うんですけども、しかしながら定住率の問題であるとか、ミスマッチの問題、課題なども多くあるんだろうと思います。

今のお話を聞きましたら、今回令和2年度で4名の方を募集をするというんですけど、私本議会の一般質問で地域おこし協力隊の御質問をさせていただいたことがあるんですけども、そのときの御答弁をちょっと読みますと、赤磐市でぜひ活動をしようと思ったということがだんだん困難になってきていると。インターネット等による広告を活用して周知を図っているが、国が働き方改革を推進している中で、本市における地域おこし協力隊の活動形態が市と雇用契約を締結せず、市から委嘱されるというだけで、任期満了後も安定的な収入を得られる保証がないなど応募につながらないという一つの要因となっているとも考えると、こういうふうにその当時御答弁を、今から1年か2年ぐらい前なんですけども、今回新規募集の状

況、協力隊員に来ていただけるというふうな状況なんでしょうか、御答弁お願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま治徳委員からお聞かせいただいたお話ですけれども、数年前に比べると、確かに地域おこし協力隊に応募なさってこられる方の頻度というのは少なくなっています。少なくなってるとはいいいましても、今もエントリーは、お話は伺います。

最初、昔はこのテーマで来たいという方はいらっしゃったんですけども、今の来られ方としては、一度赤磐市をごらんになって、農林課関係だけじゃなくて商工の関係とか、いろいろ分野がございますけれども、その中からチョイスをしてみたいという方もいらっしゃいました。年齢的にもやっぱり20代から40代まで幅はあるんですけども、それとあと御結婚なさってる方もいらっしゃいます。安定した所得とか、そういったものもやっぱり考えられるとは当然思います。3年のうちのお給金なんかも定額で決まったりしますから、不安定かどうかというのはちょっとわかりませんが、そういう定額では3年間お支払いできるので、その後、お車のリースとか、あと家のこととかいろいろありますけれども、ほとんど経費で幾らまでという上限はありますけれども、そういったものも全部市のほうで負担できますので、その辺は御安心なさって来られてもいいんじゃないかなと思ってます。

以上でございます。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 募集方法なんですけど、地域おこし協力隊員募集の専門サイトなんかもあるみたいですけども、こういった形で募集されてるんですかね。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） まず、市のホームページには載りますけれども、あと求人インディードとか、いろいろ具体的なお名前を出したらちょっとあれかもしれませんけど、ございます。そういったものには掲載させていただいております。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 地域おこし協力隊の最大の目的の一つが、3年間の任期を終えても住み続けて貢献してもらうことだろうと思うんで、赤磐市もそういったお考えなんだろうと思いますけれども、しかし全国的に定住率が5割から6割程度にとどまっているというデータもあります。赤磐市は、第1号の方は残られて地域貢献に御活躍をされている方もいますし、また先日ニュージーランド女子ホッケー代表チームのヘッドコーチが来られたときに通訳を議場でされていた方は、地域おこし協力隊員の方だというふうな形で頑張られてる方も、才能があっ

頑張られている方もいらっしゃいますけれども、ここから質問、しかしながら反面、定住どころか途中でやめられて、任期の途中でやめられている方も何人かいらっしゃるのには現実にあります。そういう中で地域おこし隊員のサポート体制をきっちりしていく必要があるんだろうと思いますけど、どのようにお考えでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま委員がおっしゃったとおりでございます。

ただ、今まで農林課の関係でございますと3名の方がもう退任されましたけれども、そのうちの1名の方は今も市内へ在住でございます。

それから、自己都合でやめられた方も、御存じかもしれませんが1名いらっしゃいます。それから、今活動なさってる方も、実はこの市内に住まわれております。自宅を持たれて住まわれておりますので、赤磐市の農林関係におきましては結構定住率っていうんですかね、これはよいほうではないのかなと私は判断しております。

それでまた、その方々のサポートですけれども、これにつきましては担当課のほうでお話もお聞きしたり、やっぱり半年ぐらいたてば面接というか、そういったものも更新も含めて話もさせていただくので、その辺は御安心なさって活動をしていただけたらと考えてます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 執行部にお願いいたします。

答弁は簡略に、データを用いるなどして御説明していただかないと長く長く答弁になりますので、済いません、御協力のほどよろしくお願いいたします。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 調べましたら、地域おこし協力隊は自治体によって自由に報酬であるとか、形態を変えられるということで、先ほど御指摘もありました家族のこともありまして、最近では家族と一緒に来るような地域おこし協力隊を希望されることもあるみたいなんですけど、そのあたりは将来的に今後地域おこし協力隊に活発に来ていただくに当たって、そういった条件を変えるとか、そういったことをお考えなんですか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 将来の取り組みにつきましてはということなので、はい、御答弁ください。

矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 将来のことにつきましては、やはりそういった今の御家族のことも考えまして、もう少し検討させていただきたいと思います。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○委員（治徳義明君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほか御質疑がございましたらお願いいたします。

6 款の範囲です。

行本委員。

○委員（行本恭庸君） どころというのはちょっとわからんけど、新規就農支援センターの関係の予算で今どのくらい予算を組まれとんか、今年度、令和2年度の予算を提示ください。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま行本委員がおっしゃったのは、工事費のほうですか、それとも……。

○委員（行本恭庸君） 全体。

○農林課長（矢部 勉君） 新規就農支援センター等の予算につきましては、令和2年度においては現在のところ特別には計上いたしておりません。

以上です。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 何ぼ探してもないはずじゃわな、この面に書いてねえんじゃから。何でそういうことになるのか。何のためにするのか。新規就農支援でやるんじやったら、どんどんどんどんやらにやいけんで。当初2ヘクあって、1ヘクはまだ造成工事は工事半ばじゃな。よその反田もろうてやろうとするんじやから、なかなか済むもんじやないわ。しかし、残った1ヘクについても、ほんならどういう計画でどういうふうにするか、そういう計画はいつ立てるのか。

この事業はいつから始まったかな、用地の取得の予算からいうたら、もう何年もなるでしょう。こんなことをしょって、これが間に合うのか。予算時に、今年度には予算にありませんじや言うたりするんじやったら、前年度の繰り越しの分が出るのを持ったりあ工事費の分はできるかもしれんけど。あとほんなら、新たに工事を例えば擁壁をすとか、いろんな、あとは調整池もつくらにやいけんようなことになっと思ったと思うんじやけど、調整池なんかは埋めてしもうてからじゃできんわけじゃから、埋める前に必要なわけでしょう。二度手間にならんようにしようと思うたら、そういう予算を組まにやいけんすわな。それが何にも令和2年度にないというたら何をするのか、もうやめえや、あんな事業。目的があるからやりよんであって、それが。

それであれば公社を設立してから云々じゃという説明も受けた。ほんなら、公社が今どこまでいっとなやら、県と農協と赤磐市ということになっと思ったと思うんじやけど。進まんような事業じやったら、もうやめにやいけんじやろう。毎年毎年予算が組めれんような事業をしたの

では。造成ができてから、ほんなら次を考えますじゃ言うて、そんなのうてんきなことを言よったんじゃったら就農する人のためにはならんじゃないですか。どういう見解ですか。担当部長や課長に言うてもじゃな、予算を計上してねえ言うんなら、もうトップに聞かざるを得んわ、どげえするんか。部長の辺で答弁できるところがあるんならしていただきやあええけど、そこから上については。予算組んでねえんじゃから、途中で補正でも組む予定であるんか、そこらはわからんけど。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 予算項目についてということの質疑になるので……。

○委員（行本恭庸君） ほじゃけえ、ほんならその他でもええよ、私。

○分科会委員長（佐々木雄司君） お話はわかるんですが、予算項目にないという質疑なんで、それ以上は。その他の項目で……。

○委員（行本恭庸君） もうそれしかねえわな。

○分科会委員長（佐々木雄司君） その他はないのか、ないんですよ。

ちょっと暫時休憩させてください。

午後2時10分 休憩

午後2時10分 再開

○分科会委員長（佐々木雄司君） じゃあ、再開いたします。

濟いません、この項目、農林水産業費をさせていただいてから休憩に入りたいと思いますので、もうしばらく濟いません、御協力ください。

そのほかの項目で質疑がありますでしょうか。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） ちょっと農業振興の全体のことと確認をとらせていただきたいんですけども、本年ですか、スマート農業の実証実験等もやられていまして、執行部のほうもスマート農業の展開、普及をもうぜひ進めていくんだと、こういうふうな御答弁もあったと思います。この令和2年度の予算の中でスマート農業がどのように反映されているのか、御答弁をお願いいたします。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 令和元年度から、スマート農業の研究とかといったものにコンソーシアムとして参加しております。その中には予算を全く伴っておりません。令和2年度においても、今のところ安井ファームで行っている部分については、市のほうの予算は今のところ考えておりません。活動はもちろんやっていきますけれども、予算を伴わないものでございます。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ちょっと質問の仕方が悪かったんでしょうけども、実証実験云々じゃなしに、もう全体的にスマート農業の普及、展開に努めていくんだと、こういうふうな、何度も一般質問であるとか、そういう特に御答弁されているんですけども、この令和2年度の予算の中に反映はされているんですかと、こういう意味ですけど、はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 多分進行に関しての考え方についてお問い合わせなんだと思いますけども、それがどういうふうな予算に反映してるのかというところの御説明をしていただけたらと思います。

矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 予算ばかりではなくて、考え方としてはもちろん令和2年度からもスマート農業や、そのほかいろいろ農福連携のことも考えていかなきゃいけませんし、そういったことは全般的に引き続き検討を続けてまいります。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 農地費はここでもよろしいんですかね。建設事業部ですけど、款でやりますよね。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 款でやりますので……。

○委員（治徳義明君） 農地費はオーケーですね。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 6款農林水産業費について質疑を受けてます。78ページから86ページまでの間です。

○委員（治徳義明君） いいですね、はい。

建設事業部さんからいただいた表の中で、ため池のハザードマップ作成1,100万円、19カ所というふうな御説明があるんですけども、その詳細説明をお願いいたします。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 何ページの何かというところを示していただいたら。

○委員（治徳義明君） ああ、ごめんなさい。一覧表の中にあるんですけど。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 一覧表のどれについての御質疑ですか。

○委員（治徳義明君） さっきから見てるんですけど、建設事業部さんからいただいた一覧表の中のため池のハザードマップ作成事業として1,100万円、19カ所というふうな御説明があるんですけども、詳細説明をお願いいたします。このあれを見るんですけど、どこになってるか、よくわからないので。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 治徳委員の御質問にお答えいたします。

この1,100万円については、予算説明資料の72ページ、73ページ、この中の一番上の部分、

004、団体営事業費の中の一番上の委託料の測量設計委託料の1,435万円、この中に入っております。詳細につきましては、赤磐市内にある防災重点ため池の中で19カ所、来年度はハザードマップをつくる予定にしております。19カ所について、個数の把握はしておりますけれども、場所についてはちょっと把握しておりませんので、また後ほど詳細を提示させていただきます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 後ほどでいいですか。

○委員（治徳義明君） よろしいです。

○分科会委員長（佐々木雄司君） はい、わかりました。

そのほか質疑のほうがありますでしょうか。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） ちょっと聞かせてほしいんですけど、82ページです。

ここの補助金の関係で、果樹とかいろいろ結構な補助金なんですけど、手厚く補助金がついてますけど、下のほうの水稲生産振興事業補助金20万円、何か稲作は農業の振興対策のうちへ入ってないのか。市内でやっぱりウエートが大きいというたら、農業をやられとる方が一番、田んぼで米つくるとるといわれる人が一番多いと思うんじゃないけど、この補助金の関係というのは毎年こんなもんですかね。要望がないということで、この金額になつとんでしょうか。それとも、問題がないということで、このぐらいの金額でということなんかな、そこら辺の。何かこれを見たら、果樹やこうにはやっぱりそれなりに材料、道具、かかるから新たな人材を育成するのに……。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 詳細説明ですね。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。水稲に関しては、この予算でどうなんかなと。

○分科会委員長（佐々木雄司君） わかりました。

詳細説明と、あと積算根拠についてお問い合わせなのだと思いますので、適宜御答弁いただければと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの保田委員の御質問でございます。

まず、かいつまんで果樹生産振興事業補助金でございますけれども、この補助金は県費でございます。毎年これはあるんですけども、年によってどうしても高い低いはあります。どういったものに補助されるかと申しますと、これは農協の部会に入られとる生産組合さんなんですけど……。

○分科会副委員長（保田 守君） 簡単でいい。

○農林課長（矢部 勉君） 防ガ灯とか防風ネット、かん水設備とか、いろいろそういう……

…。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 果樹より水稲じゃろう。

○農林課長（矢部 勉君） で、よろしいですか。

○分科会副委員長（保田 守君） ああ、ほかのはいいです。水稲はどうしてこうなのか。

○農林課長（矢部 勉君） 済いません。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） ただいま御指摘をいただきました82ページ、下のほうにあります水稲生産振興事業補助金、こちらにつきましては岡山県の米販売力強化事業という事業に関連するものでございまして、販売に支援をすると、こういう形のものでございます。

委員御心配のように、上に果樹生産の関係で非常に多いという御指摘をいただいておりますけれども、先ほど課長が幾分申し上げましたが、こちらにあります果樹のほうにつきましては生産者の果樹生産に対する支援ということで、ここに掲げております水稲生産振興事業補助金につきましては、ちょっと生産振興の部分と若干違いますので、このような金額になっております。

以上です。

○分科会副委員長（保田 守君） わかりました。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 82ページの農業次世代人材投資事業補助金で1,800万円組んだ。それから、次世代農業振興事業補助金として1,000円だか、座を先に設けとんでしようけど、これの内容説明を。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） まず、上のほうの1,800万円のほうですけども、農業次世代人材投資事業、これは対象が認定新規就農者になれる45歳未満の方ですけども、年に150万円、最高5年間にわたって補助が出ます。認定新規就農者になれることが条件になりますけれども、やっぱり経営が安定していくまでの補助でございます。

それから、おっしゃったもう1つ下の次世代農業振興事業補助金、これは国庫の補助金になるんですけども、これ今1,000円の座です。これは国庫で、農業機械なんかを買うための事業になりまして、今はエントリーがございませんけれども、令和2年度において、もしかすると経営体のエントリーがあるかもしれないので、そういうことで設けております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほか何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕



○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、この6款農林水産業費につきましては、これで質疑を終わりたいと思います。

少しお時間がたっておりますので、休憩をとりたいと思います。2時半まで休憩をとらせていただきます。よろしくお願ひします。

午後2時20分 休憩

午後2時30分 再開

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、再開いたします。

先ほどの6款農林水産業費に続きまして、次は86ページから89ページまでの7款商工費につきまして質疑を受けたいと思います。

この件につきまして委員の皆様方のほうで質疑はございませんでしょうか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 説明資料の78ページ、79ページで、商工振興費の報償費でお笑い赤坂亭出前寄席というのが100万円計上されておりますけれども、どんどんやっただけであればいいんですけれども、その中で落語というのは文化であって、教育委員会のほうがなじむんではないかという御指摘があるんですけれども、商工振興費として扱っている根拠を教えてください。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 答弁をお願いします。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） お笑い赤坂亭の設置におきましては、長寿社会に対応し、高齢者と若者の対話の不足解消と農村の交流促進を図ることに設置されたものです。こうした関係もございまして、産業振興部のほうで所管をしておるところでございます。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ありがとうございます。

それはわかりました。ちょっと市民の方から何人か御指摘がありましたのでお尋ねをしたところでありますけれども、79ページの重箱の隅をつつくような話で恐縮なんですけど、報償費、謝礼、お笑い赤坂亭出前寄席となっておりますけれども、赤坂亭の間違ひなんだろうと思いますので、今後注意していただきますようお願いいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 済いません、大変申しわけありませんでした。以後、気をつけます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほか委員さんのほうから何か質疑はありますでしょうか。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 89ページの14、使用料及び賃借料のところで有線放送使用料のこれ7万2,000円って、どこが払うのか。説明をお願いします。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 有線放送使用料ですが、熊山英国庭園の中にある有線放送が館内へ流れてると思います。その分です。

委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 追加の補足説明ですか。

大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 英国庭園の中で音楽が流れてると思いますが、あれが有線放送でございます。あれのお金でございます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員、よろしいでしょうか。

○委員（行本恭庸君） よろしいです。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 観光振興対策事業のうち、この中で花火大会、あかいわ祭りというて、こう書いとられるんですけど、花火大会はちょうどオリンピックの時期に重なると思うんで、ちょっとこの間も話題になったんですけど、警備の関係のガードマンとかお巡りさんが動員された場合、こっちの警備体制というのはできるのかどうか、その辺ちょっとお伺いしたいと思います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 花火大会の開催時期については、オリンピックの閉会式の付近になろうかと思えます。そういうことで、警備関係者なんかの不足がちょっと危惧されるところでございます。令和2年度の予算を御承認いただきましたら、早急に実行委員会を開きまして、警備員の確保に向けて取り組んでいきたいと考えております。

以上です。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） イベントに関しては、今のオリンピックはわかりました。今のコロナの状況というんですかね、ウイルスの。この状況いかんでは、ほかのイベントも、状況いかんで中止ということもあり得るということですよ。今一番厳しいところで、右へ行くか左へ行くかわからんとこになつとんですけれども、状態いかんによっては中止もあり得る。おさまるかおさまらんかというのは誰もわからん話なんですけど、それも視野に入れて考えたほうがいいと思うんですけど、どう考えますか。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） ただいま御指摘をいただきました観光振興事業補助金、こちらの関係でさまざまなイベント等を予定しております。

御指摘をいただきました花火大会、こうしたものの警備員の確保、非常に我々も危惧しておるところでございますが、実行委員会のほうでは、年度始まりまして早い段階でそうした受注業者、特に警備とかイベント開催とか、こういうところになりますけれども、そうした業者選定を早目に進めて、今後の対応をするという報告を受けております。

それから、コロナウイルスの対策の関係でございますけれども、このたび予算編成しておりますものは例年とほぼ同じようなイベントを計画しております。冒頭で市長の御挨拶にもありましたように、予断を許さん展開が起こることも想定されますので、国、県、こうした動向を踏まえながら、イベント開催につきましては検討していきたいと考えております。現時点で具体的にこれを全てやめるとか、こういう判断にはなっておりませんので、予算編成のほうで従来と同じような形で計上させていただいております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 89ページの工事請負の関係で1,795万4,000円、産業会館の空調設備の修繕ということの報告があったわけなんですけど、産業会館として今この施設は利用度がどのくらいあるのか。商工会のほうに今事務所を間借りしていただいておりますような関係で、商工会の方が使っていただくのも結構なんですけど、産業会館ということの中で利用がどのくらいあるかということについて御報告いただきたいと思います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 利用頻度の御質問だったと思います。

今、産業会館でふるさとの味さんが使われておるところと、それから月に2回ほど入札でイ

ベントホール、それから商工会さんの会議などで現在使われているところでございます。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） いや、そりゃあ商工会が使っていただくことについては何ら問題はないんですけど、私が先ほど申し上げましたように、産業会館という名称が残っている以上は産業会館としての使用頻度を上げていただきたい。今のお話では、産業会館としての使用頻度が余りにも少な過ぎるのではないかなと。それに関して1,795万4,000円は、多額な費用を赤磐市が投資して、うちの設備を直す意味があるのかないのかということについて、市民から問われたときに我々議員としてどういうふうに市民の皆様方にお話をすればいいのかということが私ちょっと気になりましたので、お聞かせをさせていただきました。もう一度御答弁いただきたいと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 答弁をお願いします。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） 答弁に少々お時間をいただきたいと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） はい。

暫時休憩をとらせていただいでよろしいでしょうか。

暫時休憩といたします。

午後2時40分 休憩

午後2時44分 再開

○分科会委員長（佐々木雄司君） 再開いたします。

答弁をお願いします。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） ただいまお時間をいただきたいとお願いを申し上げました。

ちょっと具体的な数字がやはり確認できませんので、また後ほど御報告したいと思います。施設の利用につきましては、やはり産業会館という施設でございまして、市内の中小企業の方々の相談、それから農業関連も市内の産業でございまして、この農業の打ち合わせでありますとか、新規農業者の認定でありますとか、さまざまな会議で活用いただいております。

委員御指摘のように、なかなか利活用の状態が見えにくいという御指摘をいただいておりますけれども、そのあたりしっかり活用していくように今後取り組んでいくことを前提として、予算編成させていただいております。

以上で答弁とさせていただきます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほか質疑はありますでしょうか。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 今の話をちょっと聞いたところ、耐震構造はしとらんということを知っていたんですが、そのとおりでしょうか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 耐震の調査のほうは行っておりません。

以上です。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 耐震の対象にはなっていないのでしょうか。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） 濟いません、この産業会館につきましては昭和63年8月に竣工しておる建物でございます、その耐震の基準については昭和58年ですかね、このあたり…

○委員（治徳義明君） 新耐震。

○産業振興部長（有馬唯常君） 新耐震、申しわけございません、が基準になっておるかと思えますので、それ以降の建物ということで御理解のほうをお願いいたします。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 耐震診断は、ほんならせんでもいいということじゃな。わかりました。ほんならよろしいわ。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですね、はい。

そのほか質疑がありましたらよろしくをお願いいたします。

ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで7款商工費につきましては質疑を終わりたいと思います。

続きまして、90ページから95ページまでの8款土木費について質疑を受けたいと思います。

この件につきまして委員さんのほうから質疑がございましたらよろしくをお願いいたします。

どうぞ。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 説明資料の82ページ、83ページの公園費の都市公園管理事業についてお伺いいたします。

説明では、山陽、桜が丘東、西地区内における都市公園等の管理に係る経費を計上すると、こういうふうになっておりますけれども、3エリアの都市公園の数等詳細説明をお願いいたします。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 答弁をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今、赤磐市の建設課で管理している公園については、山陽団地につきましては5個の都市公園を管理しております。あと桜が丘西の近隣公園、第1近隣公園、第2近隣公園の管理をさせていただいております。東につきましては、これも第1、第2と近隣公園がありますけれども、そちらの管理、あと桜が丘東の中で児童公園があるんですけども、こちらについてはまだうちのほうで管理はさせていただいております。

以上です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） ありがとうございます。

その中で3エリアが管理方法とか委託方法が違うんでしょうか。もし違うのであれば、理由を説明をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 山陽団地、桜が丘西、桜が丘東、ともに全ての公園ではないんですけども、大きな公園、桜が丘でいきますと近隣公園については地元の町内会へ管理を委託しております。山陽団地については、町内会にさせていただいてるところもありますけど、うちのほうで管理をしているところもございます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほか委員さんのほうから質疑はありますでしょうか。

行本委員。

○委員（行本恭庸君） どこと言うんでなしに、予算を組んだ中の概要的なもので聞きますけど、まず例えば道路とか河川の適切な維持管理ができるだけの予算が、簡単に言うと計上されているのかという点と、それから道路の中にも入るんですけど、例えば道路で言えば側溝もあったり、それから外側線も書いてあります。それで、外側線が舗装自体がもう、舗装してからライン引いて、もうそれが1回もしとらんような箇所もあって、ラインがもう消えてしまっ

てるようなところもあるわけで、そういうところについてもやっぱり必要があるためにしとるわけですから、そういうところを積極的な予算で計上する必要があるんじゃないかと思うんですけど、そこらの維持管理について、そういう問題ができるのかどうか。

それからもう1つは、地元要望というのが当然上がってきます。それが、長いこと地元要望しとってできてないような部分、箇所もあります。ですから、そりゃあ地元要望が上がってきたから、すぐほんなら次の当初予算で予算計上する、できる場合もあればまたしていただいて、できない部分もあると思いますけど、そういう中で地元要望に対しての予算が十分消化できるだけのものを組んでおるのかどうか。そういうことについての現状、この予算書の中でどういう位置づけになっておるのか、その説明をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 行本委員の御指摘の維持管理につきましては、草刈りであるとか側溝の清掃等で、一般の維持管理について別枠で予算計上というのはしておりません。通常の修繕料で対応させていただくように考えております。限られた予算でありますので、修繕要望の全てに対応していくということは難しいと思うんですけども、緊急を要するような危険な箇所については優先的に修繕で対応してまいります。

もう1つあった外側線の復旧につきましては、市道の外側線が確かに薄くなっている箇所が市内にたくさんあります。事故がある前に対応するために、交通安全施設整備費として予算計上しておりますので、この中で地元と調整をして、緊急性を検討しながらライン、ガードレール等の安全施設を整備していきたいと考えております。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 先ほどの地元の要望に応えるべきの答弁でございます。

地元のほうから要望を毎年たくさんいただいております。また、要望を見ますと、要望の中では地元のほうとしても総論は賛成で、各論になると地権者のまだ同意がとれてないとか、反対の意向があるとかで、すぐに実現できないものも相当ございます。要望を受けた内容をそれぞれ執行部のほうで精査をいたしまして、極力厳しい財政状況の折、国、県の採択基準に照らし合わせながら、そういった事業、メニューの助成が得られるよう、執行部としても努力はしているところでございます。

こういった中で必ずしも地元の要望に全てが全て応えられるわけではございません。そういった案件につきましては、地元のほうとの情報共有を密にしながら、事業の推進を行っております。また、限られた予算の中で地元の要望が早期に実現できるよう、費用対効果なんかも検証しながら、優先順位をどうしてもつけなければならないという状況です。また、工事で発生した土砂を利活用する等にして、コスト縮減にも限られた予算の中で数多く取り組みがしてい

かれるよう、事業に取り組んでいってるところでございます。

以上です。

○委員（行本恭庸君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 答弁ありがとうございます。

その中で例えば地元要望の件にいたしましても、確かに単市ばっかしで物事をやっていくべきことでもないんで、例えば県の補助対象になるものを選んで、そういう対象になるようなものがあれば、優先順位ももちろん県のほうもあります。そういうところも考慮した中で早期に実現できるよう工夫してやっていただきたいと思ひますし、それから道路の側溝とか、そういう草刈り等の管理でございますけれど、特に今のシーズンではもう落ち葉も完全に落ちてしまつて、もう次の新しい芽が吹くような時期にも近うなつておるんですが、年度内の予算で、今年度予算ですな、そこで対応できるというてももうあとわずかなんで、お金のほうもそんなにないと思ひますが、当初予算で成立すれば早期に落ち葉対策なんかは、特に広葉樹の多いとこの側溝にはたくさんたまっております。そういうものが6月から始まつての雨季、そういうものに対しての、それから今ごろの雨というのは集中的なゲリラ豪雨のようなものもあります。

そういうことで、また二次災害が起きないように、事前にそういうところは撤去できるような予算を計上していただかなければならないと思ひますし、それとずっと私も長いこと議員をさせていただいておりますけど、土木関係なんかの予算、農林関係もそうですけど、事業費がどんどんどんどん削減されとるとというのが目に見えて……。そこらはやっぱりほかのこの、特に今の少子化の問題等で教育関係なんかにもどんどんお金が回っております。これ時代の流れでしょうからやむを得ないことと思ひますけれど、しかしやっぱり地元からの要望があつたようなものについては惜しみない予算を組んで、対応してやっていただけるようにしないと、ただもう銭が足らんから、もう建設の関係は、ほんなら例えば10%なら10%、予算を絞つて組めというのでなしに、やっぱり内容を十分精査して、要るものにはやっぱりお金を惜しまずに使うて、新規の事業でということについては、そりゃあ内容を十分考えられてやればいんであつて、先ほどの予算書にないような話をしちゃあいけんのじゃからやめますけど、そういうような事業と、必ずやらにゃいけんところへは手厚い予算が配分できるように、市長、頑張つてやつてもらわんと、今の中じゃあなかなかね、かゆいところにも手が届かんような状態になつとると思ふんで、そういうことにならんようにやっていただきたいと思ふんじゃけど、どういふようにお考えでしょうかね。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） ありがとうございます。

道路の附属物の維持管理、これは重要だと考えてます。ともすれば重大な事故につながるか、そういったこともあり得ますので、そういう優先度に応じてしっかり対応できるよう、心



がけていきたいと思えます。

修繕事業というのは、新年度の予算をつくる時には個々の拾い上げで予算編成というのはなかなか難しゅうございます。総枠として修繕事業を予算づくりさせていただきます。その予算を考える中では、前年度の実績や、地域や市民の皆さんの要望のボリューム等を勘案しながら、適切な規模での予算編成をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員（行本恭庸君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） そりゃな、前年度の実績云々とか言われますけど、現実に例えば舗装一つとって考えてほしいんですけど、最初の舗装を新設でした、それから全然手を加えんような舗装道路もあるんですよ。それをいつまで辛抱せえというんかということになる。特にネオポリスなんかは熊山町分が多いんですけど、下水管の杭で大和との交渉でいろいろお金をかけていただいて、道路をあっちこっち掘りたくってしとりますから、継ぎはぎだらけになっとなります。それで、現実的には今人口がどんどんどんどん張りついていって、それもやっぱり市民からそういう道路を直せば、あそこを直したんなら、今度はここも直してくださいというようなことを耳にするわけですよ。だから、そういうところも、田舎はほっとけという意味じゃないけど、田舎のほうもどんどん悪くなっとなですよ。だから、そういう道路の舗装も全部改修できんのはもうわかつとる。ですけど、それをほっとくということは、どんどんどんどん積み重ねていきょうるわけですから、そういうところの部分も十分考慮に入れた中で物事をやっていかないとイケんのじゃねえかと思えますよ。

それから、部門は違いますが、例えば水道管なんかの老朽管を今改修もしていきょうります。それと一緒に、物にはやっぱり耐用年数というものがあるわけですから、それについて、もうぼろぼろになっとなところはもう早く、それ以上めげないように対応できるように、全部剥がしてから新しいのをしてくださいとは言いません。パッチングでも結構です。やっぱりわずかなことで広範囲のところができると、とりあえずの手当てをしていただくのも一つの策じゃないと思えますので、そこら辺も十分考慮に入れていただいて、来年度からの予算で、補正で対応できるようなことができればそういうことでも結構ですので、今後の進め方についてはそこらのところも十分反映できるように、改良できるような予算の計上をよろしく頼みます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

○委員（行本恭庸君） 市長答弁。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 特に桜が丘の西、東については、道路が、特に舗装が亀甲状に亀裂が入って危ないとかという箇所はたくさん声を聞いております。それに対して道路全体の維持修繕のやり方について、連合町内会と協議をさせていただいております。一番いいのは、ここからここへばさっと打ちかえをするのが一番いいんですけども、多額の費用がかかるので、委員

が御指摘のように、パッチングやオーバーレイで部分的な補修をしながら、危なくないように維持管理をさせていただくということを桜が丘に関しては協議をして、了解を得て、そういう実態を継続しているところです。引き続きこういうやり方は継続させていただいて、大規模な改修が必要とあればそういったことも考えますし、また年の途中で費用が、予算がなくなったという場合には、場合によっては補正予算をお願いするというようなことも視野に入れながらやらせていただきます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほか質疑ありますでしょうか。

○分科会副委員長（保田 守君） いいですか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 道路改良費の道路改良事業で門前池線改良という、ちょっとこれの概要説明をお願いいたします。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 門前池、どれですか。

できましたら、款項目をおっしゃっていただいて、御質問してください。

よろしいですか。

福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 保田委員の御質問にお答えさせていただきます。

道路新設改良事業の市道門前池線改良事業につきまして4,750万円計上させていただいております。その内訳につきましては、測量試験費が250万円、工事請負費として4,500万円を計上させていただいております。内容につきましては、山陽総合福祉センター及び山陽福祉老人センターといいますのは、福祉避難所として指定されておりますが、アクセス道路が狭隘で見通しが悪いために、災害時にこれを必要とされている方が安全な避難ができないということで、安全な避難をしていただくために市道山陽団地補助幹線4号、東の補助幹線から市道門前池線へのアクセス道路の新設及び門前池線の拡幅をするものであります。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） あっこがやっぱり狭い道で、広うなったらええなと思うとったんです。やっぱりちょっと危ねえわなと。それで、あれを拡幅するというのは、本当に皆助かると思います。

ただ、これは池のそばで、山際を掘るということでしょうか、基本的には。池の散歩をする人も多いし、あの道路、それから高齢者が比較的施設の関係であそこをよう通るので、片一方が完全に落ちたら池という状態な場所なんで、安全柵、できたらガードレールのように、歩行者

が落ちんように手すりでもいいんですよ。車が通るからガードレールが一番いいと思うんですけども、そういうもんは一切これには入ってないですよ、道路だけじゃから。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 道路のガードレール、それも含めて道路改良事業と考えております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） ほんなら、5丁目の取り継ぎの部分からずっと広がっていく部分、ほとんどこっち側、池サイドはガードレールがつくということですか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今後詳細設計をしてみますので、今現時点でどこからどこまでっていうのははっきり申し上げられませんが、その方向で検討させていただきたいと考えております。

以上です。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 危険がないように、よろしく願いいたします。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほか何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで土木費につきましては質疑を終わりたいと思います。

続きまして、122ページの11款災害復旧費につきまして質疑を受けたいと思います。

この件につきまして委員さんのほうから質疑がございましたらよろしく願いいたします。

災害復旧費です。ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようでしたら、これで災害復旧費につきましては質疑を終わりたいと思います。

以上をもちまして当分科会の審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、そのようにさせていただきます。

最後になりましたが、先ほどお知らせをお待ちしていただいております内容につきまして、御報告ができるようになったようですので、改めましてこちらで御報告をお願いいたします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 御指摘がございました合併浄化槽の地域ごとの設置の数でございます。

山陽地域が8件、これは令和元年度実績の数字でございます。19件の内訳です。山陽地域が8件、熊山地域がゼロ件、私2件と申しました。先ほど調べましたら、取り下げがあった模様です。最終的にはゼロ件。赤坂地域が8件、吉井地域が3件、令和元年度が合計19件という内訳になっております。

また、御指摘ございました防災重点ため池のハザードマップ作成でございますが、山陽地域が5カ所、赤坂地域が4カ所、熊山地域が5カ所、吉井地域が5カ所、以上19件でございます。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 先ほどの産業会館の使用回数、使用頻度についての御質問の回答でございます。

ふるさと交流室、それからイベントホール、合わせまして231件ございます。内容につきましては、あかいわ創業塾であったり、それから5Sセミナーであったり、5Sの勉強会なんかを開催いたしております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 以上ですかね。ありがとうございます。

もう一度お尋ねをいたします。

委員長報告につきましては委員長に一任させていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） 改めましてありがとうございます。

それでは、そのようにさせていただきます。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでございました。ありがとうございます。

す。

これで予算審査特別委員会産業建設分科会を閉会といたします。

お疲れさまでございました。

午後 3 時 11 分 閉会